様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

茨城県知事　　令和 8年 6月 30日

大井川 和彦　　様

提出者

住 所　栃木県小山市駅東通り2-39-11

氏 名　潮田建設株式会社

代表取締役　潮田安弘

電話番号　0285－25－6756

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	潮田建設株式会社
事業場の所在地	栃木県小山市駅東通り2-39-11
事業の種類	0611 一般土木建築工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

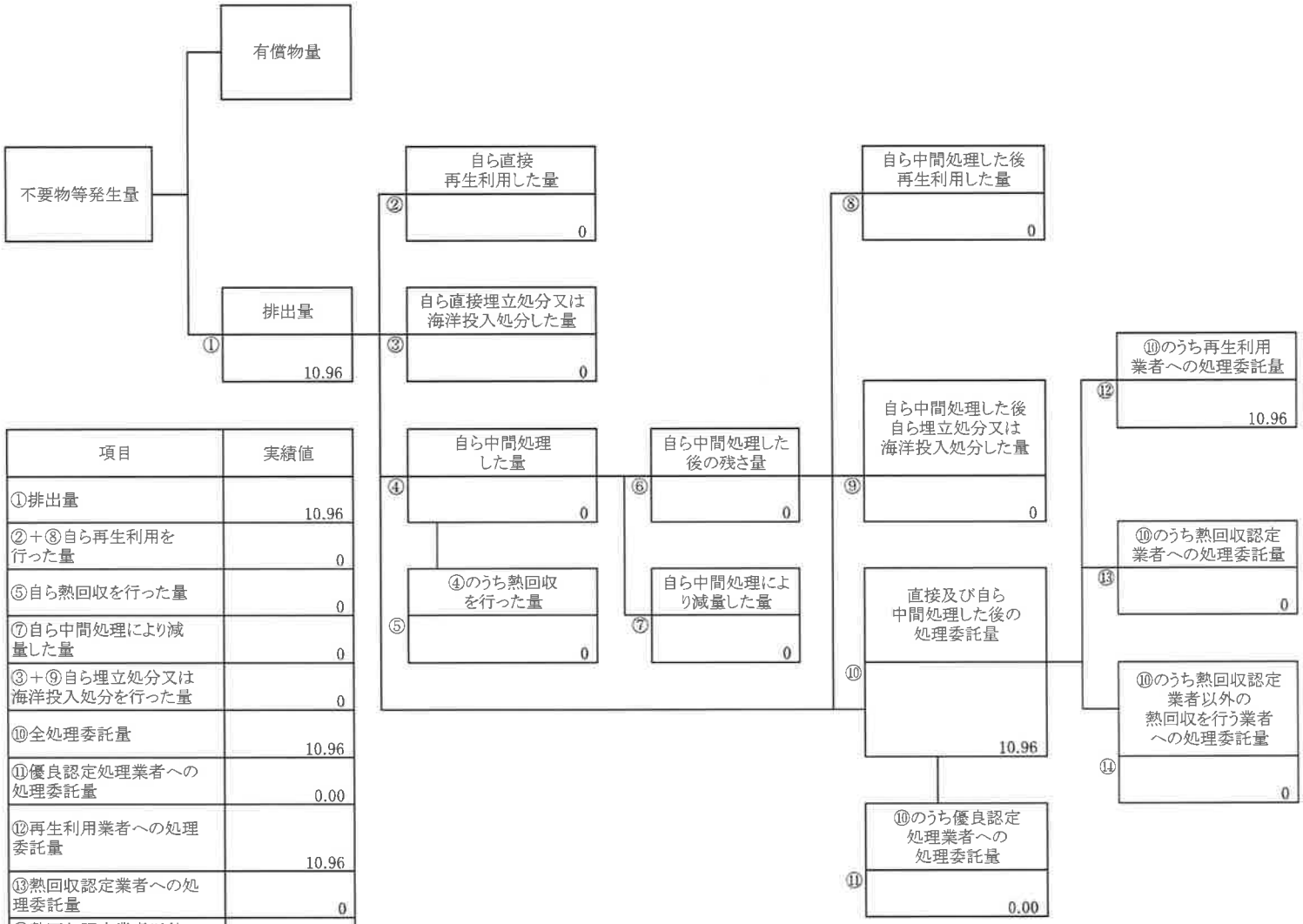
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,260t 別紙のとおり	全処理委託量	2,260t 別紙のとおり
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	2,260t 別紙のとおり
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	0t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

茨城県 令－8.7.－7 和 廃棄物対策センター 受付

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：がれき類　　）



項目	実績値
①排出量	10.96
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	10.96
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	10.96
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書の［集計用シート］

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
各行政庁の所管区域内の作業所（現場）を総括的に管理する支店等の住所	各行政庁の所管区域内の作業所（現場）を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
栃木県小山市駅東通り2－39－11	潮田建設株式会社	土木部	潮 忠義	0285-25-6756	0285-25-9120	[illegible]

産業廃棄物の種類		計画の実施状況																	②+③	④+⑤
		①搬出量	②自ら直接再生利用した量	②自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤ そのうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩自己処理した後の処理委託量	排出後及び自ら（⑪＝①－②－③－④＋⑤－⑥－⑦－⑧－⑨＝⑩＋⑫＋⑬＋⑭＋⑮）							②+③	④+⑤
												委託による区分						特定有害廃棄物等の処理委託量	自ら再生利用を行った量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
コード	名称	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	⑪再生利用業者への処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	⑭その他の中間処理委託量(t)	⑮埋立処分委託量(t)	⑯委託認定処理業者への処理委託量(t)	(t)	(t)	(t)
建設業の備考	個石平角	当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	④の量のうち熱回収を行った後の量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑦の量を差し引いた量	④の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	④の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	④の量のうち、自ら処理した後の処理委託量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑪の量のうち、処理業者への再生利用委託量（⑪a、⑪b、⑪c）	⑪の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑪の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑪の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量（⑪a～⑪cを除く）	⑪の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑪の量のうち、優良認定処理業者への委託量	①の量と⑤の量を合計したもの（自動計算）	③の量と⑤の量を合計したもの（自動計算）
100	燃え殻	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0
200	汚泥	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0
300	廃油	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0
400	廃酸	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0
500	廃アルカリ	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0
	廃プラスチック類	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0
	600:廃プラスチック類	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0
	2430:廃プラスチック類（石綿含有）	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0
700	紙くず	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0
800	木くず	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0
900	繊維くず	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0
1200	金属くず	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0
	1300:ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0
	1322:廃石膏ボード	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0
	2420:ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有）	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0
	がれき類	10.96	0	0	0	0	0	0	0	0	10.96	10.96	0	0	0	0	0	0	0	0
	1500:その他のがれき類	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0
	1501:コンクリート塊	1.48	0	0	0	0	0	0	0	0	1.48	1.48	0	0	0	0	0	0	0	0
	1502:アスファルト・コンクリート塊	9.48	0	0	0	0	0	0	0	0	9.48	9.48	0	0	0	0	0	0	0	0
	2440:がれき類（石綿含有）	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0
	建設系混合廃棄物	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0
	2010:建設系混合廃棄物（安定型）	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0
	2020:建設系混合廃棄物（管理型）	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0
	2022:解体系混合廃棄物（石綿含有）	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0
	水硬使用製品		0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	10.96	0	0	0	0	0	0	0	0	10.96	10.96	0	0	0	0	0	0.00	0	0

（注1）トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
（注2）上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力するとともに、第2面も追加してください。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書（令和07年度）

都道府県政令市名：茨城県

報告者				事業場		事業の種類		産業廃棄物の種類		産業廃棄物発生量の目標	①発生量（t）	②自己直接再生利用量（t）	③自己直接現立処分又は海洋投入量（t）	④自己中間処理量（t）	⑤自己中間処理残さ量（t）	⑥自己中間処理後再生利用量（t）	⑦自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量（t）	⑧直接委託量及び自己処理後委託処分量（t）			
住所	名称	氏名	電話番号	名称	所在地														⑨再生（t）	⑩中間処理（再生以外）（t）	⑪最終処分（t）
栃木県小山市駅東通り２丁目３９番地１１号	原田建設株式会社		0285-25-6754	R６利根川（東京川）左岸野木崎堤防その１工事	08224 茨城県守谷市野木崎	006	総合工事業	1501	コンクリート破片		1.46							1.46			
栃木県小山市駅東通り２丁目３９番地１１号	原田建設株式会社		0285-25-6754	R６利根川（東京川）左岸野木崎堤防その１工事	08224 茨城県守谷市野木崎	006	総合工事業	1502	アスファルト・コンクリート塊		9.472							9.472			